

土の魅力と性能、 その可能性

これまでの大量生産、大量消費の時代を見直し、地球環境問題や持続可能型社会の実現など、次代へどのように繋いでいくのが、大きな社会課題となっている。そうした動きは建築業界にも波及しており、あらためて自然の素材の性能と魅力が見直され、地産地消への回帰につながりつつある。

自然素材の風合い、地域の歴史と文化、そうした要素を内包しているだけでなく、調湿性能や不燃材料などの建材としての性能も土の魅力となっている。

今月号は、土の優れた性能とこれからの建築へ活かしていく方法など、早稲田大学理工学術院の山田宮土理准教授にお話を伺うほか、建築研究所防火研究グループ主任研究員の水上点睛氏より土の防火性能に関する寄稿を掲載し、建築材料としての土の可能性を探っていく。

(編集部)

インタビュー

心を動かし、文化を育む、 素材としての土には可能性がある

早稲田大学理工学術院
准教授

山田 宮土理 氏に聞く … 12

寄稿

材料としてみる土壁の可能性

国立研究開発法人 建築研究所
防火研究グループ 主任研究員

水上 点睛 … 16